



北京市高等教育精品教材立项项目

中日同声传译教材系列

中日同声传译

背景知识储备训练

自然、文化篇

总主编：邱 鸣
副总主编：杨 玲
主 编：谢立群
编 者：谢立群 侯 越

学习辅导用书



外语教学与研究出版社



北京市高等教育精品教材立项项目

中日同声传译教材系列

中日同声传译

背景知识储备训练

——自然、文化篇——

总主编：邱 鸣
副总主编：杨 玲
主 编：谢立群
编 者：谢立群 侯 越

学习辅导用书

外语教学与研究出版社
北京

图书在版编目(CIP)数据

中日同声传译背景知识储备训练自然、文化篇学习辅导用书 / 谢立群主编; 谢立群, 侯越编. — 北京: 外语教学与研究出版社, 2013.9

中日同声传译教材系列 / 邱鸣主编
ISBN 978-7-5135-3608-0

I. ①中… II. ①谢… ②侯… III. ①日语—口译—高等学校—教学参考资料 IV. ①H365.9

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2013) 第 223836 号

出 版 人 蔡剑峰
责任编辑 张俏岩
封面设计 高 蕾
版式设计 吕 茜
出版发行 外语教学与研究出版社
社 址 北京市西三环北路 19 号 (100089)
网 址 <http://www.fltrp.com>
印 刷 北京联兴盛业印刷股份有限公司
开 本 787×1092 1/16
印 张 10
版 次 2013 年 9 月第 1 版 2013 年 9 月第 1 次印刷
书 号 ISBN 978-7-5135-3608-0
定 价 29.00 元

购书咨询: (010)88819929 电子信箱: club@fltrp.com
如有印刷、装订质量问题, 请与出版社联系
联系电话: (010)61207896 电子信箱: zhijian@fltrp.com
制售盗版必究 举报查实奖励
版权保护举报电话: (010)88817519
物料号: 236080001

总序

翻译工作在当今的全球化时代里已超越了单纯的语言转换这一层面，在政治、外交、经济、社会、文化等各个领域的国际交流中越来越彰显出其不可替代的特殊地位。与此同时，翻译产业也正进入一个日益专业化、规模化并迅猛发展的全新时代。在这一背景下，2006年教育部正式批准高校设置翻译专业本科（BTI），2007年国务院学位办批准设置翻译硕士专业学位（MTI）。而日语、法语和俄语等非通用语种MTI在2009年也相继获批。截至2013年，全国已有49所高校设置了BTI，更有多达159所高校获得了MTI的招生资格，其中有近30所高校开设了日语MTI。可以预见，日语翻译人才培养的体系化、专业化、规模化及其市场化走向将成为今后备受关注的课题。

然而，包括日语在内的非通用语种的翻译专业，从专业设置、人才培养方案、课程体系、教材到师资队伍建设等目前均处于建设不够完善的阶段。教材，特别是口译教材的编写一直处于比较滞后的状况。以日语为例，目前的教材大多都是单本教材，形式也多集中于素材训练，教材的结构、内容和形式与人才培养的专业化及课程设置等方面缺乏系统性的呼应，尤其鲜见在口译技能技巧、口译实务演习、笔译、听译以及背景知识等方面成体系的系列性教材。作为日语翻译学科建设的一个环节，出版一套融理论、训练方法及实务演习为一体的中日口译教材已成为中日翻译界及中国日语教学界共同的期待。

早在20世纪80年代中期，北京第二外国语学院日语学院就在研究生阶段设立了“翻译理论与实践”方向，2002年又开始了“口译”“笔译”分流的专业翻译人才培养的探索。从2005年开始，日语学院率先在国内高校日语专业领域内开设了本科翻译方向同声传译班。北京第二外国语学院也于2009年成为了第一批获批设置非通用语种翻译硕士专业学位的高校。在此后几个周期的培养过程中，人才培养方案、课程体

系、师资队伍以及教学环境建设已日趋完善与成熟,教材建设的条件也日趋完备。为了打破国内高校日语教材匮乏的现状,完善口译人才培养教学体系,日语学院以翻译教学一线的教师团队为编写主体,于2009年开始着手《中日同声传译教材系列》项目的研发与编写。

《中日同声传译教材系列》于2010年获批北京市高等教育精品教材立项项目。系列教材包括《中日同声传译技能技巧训练》(上下册)、《中日同声传译实务演习》(日译中、中译日)、《中日笔译实用技巧训练》(上下册)、《中日同声传译听译实践训练》(上下册)、《中日同声传译背景知识储备训练》(自然、文化篇和社会、经济篇)以及配套的学习辅导用书共计18册。教材以日语翻译专业或日语专业翻译方向的本科学生、普通高校日语专业的“口译”“笔译”“同声传译”等课程的学习者、翻译硕士专业学位学生以及正在从事或有志于从事翻译事业的社会读者为授课对象,学习者需具备中级以上日语水平,即日语新闻能听懂60%以上的内容、新日语能力测试N2级以上水平。

本套系列教材的主要特点在于:

第一,创新性及体系性。如果将以往的中日同声传译教材称为教学翻译的一部分的话,那么本套教材则是基于翻译教学的需要而编写的专业教材。如《中日同声传译技能技巧训练》集理论、技巧及实践于一体,含口译(同声传译)必备的技能技巧共20余项,技能技巧的组织排列从易到难、循序渐进,内容涉及众多专业领域与热点话题,训练时所使用的语言单位也从词汇、短句、段落到语篇,充分体现了在技能技巧训练上的专业性、系统性、科学性与体系性。

第二,实战性及职业性。本套系列教材注重双语能力、技能技巧与专业领域知识的高度契合,如在《中日同声传译实务演习·日译中》《中日同声传译实务演习·中译日》中强调口译实践中的译前准备,在实训前先导入相关领域的专业词汇、短句等热身练习作为译前准备,然后再按照素材的难度、长度、专业性等逐步进入实务演习,充分体现了口译训练的实战性。尤其在最后一课“模拟会议传译”中导入了翻译教学中“项目进课堂”的理念,在课堂教学中除素材训练外,还引入了“项目承接、会议日程及相关事务沟通、会议资料沟通、会议内容的译前准备、现场确认、译员间传译、传译评价”等环节,真正让学生从会议传译的全过程去模拟和体验同传。这种涵盖译前、译中、译后的口译实务过程的教学模式不仅能综合展示学生的语言、技能技巧与相关背景知识,同时还能让学生真正体验到接近实务的口译流程,并培养口译现场的适应能力与应变能力。

第三,对翻译过程及翻译思维、翻译意识训练的凸显性。本套系列教材的各分册教材无论从素材的组织、语言单位的排列、训练方法的设计等方面都充分体现了对翻

译过程、翻译思维、翻译意识以及翻译习惯的重视、培养和训练。同时,教材还部分涵盖了译员职业素质和职业道德培养的相关内容,体现了对专业口译译员培养的体系性、综合性和有效性。尤其是《中日笔译实用技巧训练》中对逻辑思维、信息处理的训练和对“笔译和口译”关系的定位,《中日同声传译听译实践训练》和《中日同声传译背景知识储备训练》中对“听和译”“背景知识和译”的关系的定位,都无不体现了这套教材的上述特点。同时,素材和翻译技能技巧以及专业领域知识相融合的训练方法,也弥补了目前教材中常见的素材和技能技巧训练脱节的不足。

第四,系列教材的实用性。本套系列教材的结构、组织以及教材的难易度,都体现了教材的实用性。不仅口译、笔译教材单独成册,在《中日同声传译技能技巧训练》与《中日同声传译实务演习》中同样涵盖了日译中与中译日的内容,系列教材既独立又互为补充;从整体来看,还包括《中日同声传译听译实践训练》与《中日同声传译背景知识储备训练》,融翻译技能技巧、素材、实务演习和专业领域知识为一体。除《中日同声传译听译实践训练》以外,每一本教材又分为主教材和学习辅导用书,学习辅导用书中还提供了课程安排表,不仅便于学生使用,还为教师教学提供了便利的教案参考。另外,除《中日笔译实用技巧训练》之外,主教材均配有MP3光盘,适于读者进行自主学习或自我训练。在遵循系列教材的内容进行学习和训练,并能有效完成学习任务的前提下,可以达到国家人社部翻译资格考试(CATTI)中口笔译实务三~二级的水平;本科学习者可达到报考翻译硕士专业学位的水平。

本套教材在编写过程中得到了诸多业界同仁、精英的指导和教诲,也得到了北京第二外国语学院日语学院所有教师给予的鼓励与帮助,特别要感谢高木章江等外籍专家对本书的认真审订。同时对外语教学与研究出版社在本书编写、出版之际给予的大力支持,以及责任编辑在出版过程中付出的辛勤劳动致以谢忱。衷心感谢书中所使用的部分音频、文字素材的版权方及会议组织者允许我们在教材中使用这些资料。此外,这套教材得以成功问世,还得力于北京市优秀教学团队、国家级教学团队“翻译方向课程教学团队”的支持。

编写一套符合翻译专业需求的中日同声传译教材是我们的目标。我们期待得到广大使用者以及各界专家的宝贵意见,我们将不断完善、不断前进,为全国中日口译、同声传译学习者们提供一套最为优秀的教材。

《中日同声传译教材系列》总主编 邱鸣

2013年3月1日



教材使用指南

适用课程

可用于大学本科基础阶段，即一、二年级的中日同声传译方向背景知识课，也可用于大学日语专业本科二、三年级的日本概况课。

教材构成

《中日同声传译背景知识储备训练——自然、文化篇》主要涉及日本的自然、文化与教育方面的知识；《中日同声传译背景知识储备训练——社会、经济篇》主要涉及日本的社会、政治与经济方面的知识。

教材由主教材和配套的学习辅导用书组成。

课程安排

《中日同声传译背景知识储备训练——自然、文化篇》以及《中日同声传译背景知识储备训练——社会、经济篇》配合目前大部分高校 18 个教学周的设置，考虑到阶段复习和期末复习的时间，均由 16 课组成。根据每个学校的具体情况，每册教材可使用一个学期，也可使用一个学年。

配套的学习辅导用书是按照使用一个学年每周 2 课时的教学进度编排的。

基本理念和特色

(1) 突出重点，选择具有代表性的专题进行讲解，引导学生深入理解，形成系统化思维。在引导学生对日本的自然、文化、教育、社会、外交、经济进行宏观了解的基础上，使学生更加深入地了解日本社会。(2) 更加贴近现代日本的社会生活。(3) 发挥学生的主体性，培养学生搜集、梳理以及初步分析资料的能力。(4) 设置重点词语说明，使学生加深对重点语句的理解，从而提高学生的翻译能力。

(5) 通过课后的练习题, 梳理课文重点, 拓展学生的视野。

使用方法

(一) 主教材的使用方法

主教材每课包括导入部分、专栏、课堂练习 3 个部分。导入部分是对本课所涉及专题内容的概括。专栏部分围绕本课所涉及的专题, 从更加微观的角度对专题的内容进行拓展。课堂练习部分包括 4 个步骤: (1) Step 1 针对课文内容进行提问, 目的在于检查学生对课文内容的理解程度。(2) Step 2 列出课文中出现的新词汇, 以加深学生对特定词语及其社会文化内涵的理解。对于专业性较强的词汇, 日语解释部分对其含义进行了一定的拓展说明, 而译文部分仅给出该词的中文译文, 不做进一步说明。(3) Step 3 通过引导学生自己动手查找资料, 加深学生对课文内容的理解。(4) Step 4 为扩展练习, 其目的在于提高学生的认识, 让学生在更广泛的范围内对课堂所学内容展开思考。

上述 (1) (2) (3) 项内容为基本练习内容, (4) 的扩展练习部分旨在引导学生深入思考, 教师可根据本校学生的程度因材施教。

(二) 学习辅导用书的使用方法

学习辅导用书包括各课的课程安排、教学内容提示以及参考答案。课程安排对教学时间进行了设定, 明确了学生在预习和复习中应该完成的任务, 以促进学生学习自主学习。

目 录

第 1 課	日本の国土概況	1
第 2 課	日本の気候	11
第 3 課	自然景観と自然災害	21
第 4 課	大陸文化の摂取	29
第 5 課	神道	39
第 6 課	日本の仏教	49
第 7 課	日本の伝統芸術	57
第 8 課	日本の伝統芸能	67
第 9 課	日本のスポーツ	77
第 10 課	さまざまな行事	87
第 11 課	日本の歌と小説	97
第 12 課	現代日本の若者文化	107
第 13 課	日本の学校教育	117
第 14 課	日本の大学	127
第 15 課	大学生活	135
第 16 課	高齢者の生涯学習	143

第1課 日本の国土概況



一、课程介绍

1 教学内容

本课主要介绍了日本的国土概况。【导入部分】主要介绍了日本的地理位置、领土构成、地形特点、人口概况以及地理区划。【专栏1】主要介绍了日本的农业、畜牧业、渔业等的特点和发展近况。【专栏2】主要介绍了日本的温泉。

2 教学目的

通过本课的学习，学生能了解日本的地理位置、领土构成、地形特点、人口概况、地理区划等国土概况，以及日本人民是如何因地制宜，精耕细作，采取各种措施发展农业、畜牧业和渔业并取得成功的。通过对这些知识的学习，学生能对日本的国土概况和人民生活有比较清晰的认识。



二、课程安排

授课时间	50分钟×2×2	
时间安排	课前预习	预习第1课，查找Step 2中单词的意思。
	第1节课	1. 检查【练习】Step 2的单词预习情况。 2. 学习【导入部分】。
	第2节课	学习【专栏1】，提问Step 1中的相关问题。
	课后复习	复习所学内容，准备就Step 3和Step 4进行发表。
	第3节课	学习【专栏2】，提问Step 1中的相关问题。
	第4节课	就Step 3和Step 4进行发表并讲评。
	课后复习	1. 归纳整理Step 3、Step 4的内容，下节课提交书面材料。 2. 预习第2课内容。



三、教学内容提示

1 【导入部分】教学内容提示

本部分主要介绍了日本的地理位置、领土构成、地形特点、人口概况和地理区划。日本是一个岛国，山地众多、平原狭小、海岸曲折、多火山和地震。教师可以通过本课的地图、图片来介绍日本的这些地理特征。



参考文献 《日本概况》旅游教育出版社 2006年



参考URL 1. <http://www.hello-school.net/> (ネットの学校)
2. フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

(1) 位置

日本はアジア大陸の東にある島国である。北海道、本州、四国、九州の4つの大きな島と約7,000の島々から成り立っている。北はオホーツク海を隔ててロシアの東シベリアに接し、西は日本海と東中国海（日本では東シナ海と呼ぶ）を隔てて朝鮮半島、中国大陆と向かい合い、南は太平洋を挟んでフィリピンやインドネシア等の国々と隣り合っている。

日本の国土の総面積は377,930km²で、アメリカや中国のおよそ25分の1の広さである。

付録資料1：日本の地図

付録資料2：面積の大きい島トップ5

(2) 地形

日本国土の70%近くは山地^{注1}と森林で、平地の面積は限られている。国土の約13%が農地として使われ、居住用の土地は僅か4.9%しかない。日本は世界でも有数の産業国として知られているが、産業用地は国土の0.4%にすぎない。

本州の中央部は「日本の屋根」とよばれる、標高3,000m以上の高い山脈が連なっている。飛騨山脈^{ひだ}を北アルプス、木曽山脈^{きそ}を中央アルプス、赤石山脈^{あかいし}^{注2}を南アルプスといい、総称して日本アルプスと呼ぶ。日本で一番高い山は富士山で、標高3,776mである。

日本は環太平洋造山帯に属しており、火山が多い。浅間山^{あさま}、三宅島^{みやけじま}、桜島^{さくらじま}は近年、火山活動が活発な所である。

付録資料3：日本の山々

(掲載ページ：<http://www.hello-school.net/> (ネットの学校))

日本の川は短くて急流が多い。落差の大きい急流は、水力発電に適し、美しい峡谷をつくっているが、交通にはほとんど利用できず、洪水や水不足を起こす危険がある。日本で最も長い川は信濃川^{しなのがわ}で、長さ367 kmである。

湖は、山間にあり、水が澄んでいて眺めのよいものが多いが、規模は小さく、最も大きい琵琶湖^{びわこ}が670 km²である。日本で最も深い湖は田沢湖^{たざわこ}で、水深423mである。

日本には、川が運んだ土砂が堆積してできた平野が多いが、面積は狭い。利根川^{とねがわ}の流域にある関東平野^{かんとう}、北海道の石狩平野^{いしかり}、信濃川の流域にある新潟平野^{にいがた}などがある。

日本の海岸線は複雑で入り組んでいるところが多い。特に太平洋側で多く、山地が沈んだり、侵食されて深い湾となったり、入り江となったりアス式海岸と呼ばれる地形で、三陸海岸^{さんりく}や志摩半島^{しま}が代表的である。日本海側では、海岸の出入りは少なく、新潟県^{にいがたけん}や鳥取県^{とっとりけん}では砂丘が見られる。

(3) 人口と地方区分

日本の人口は、2008年の時点で約12,769万人である。人口の分布は、温暖で交通、産業の発達した太平洋沿岸の平野に多く、特に東京都、大阪市、名古屋市を中心とする地域に日本の人口の5割弱が集中している。日本の人口は戦後から増加し続けてきたが、増加率は小さくなっている。また、2005年には、初めて前年の人口を下回った。これは、女性の結婚年齢が高くなってきたことや、女性の社会進出などが原因として考えられる。1人の女性が産む子供の平均数が少なくなっており、少子化が進んでいる。

日本は北から北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州の8つの地方に分けられる。これらの地方区分は地形などの自然的な特徴と地域の産業や歴史的な変遷を基礎にしたものである。

都道府県は行政上の地方区分である。日本には、1都（東京都）、1道（北海道）、2府（大阪府・京都府）、43の県がある。

付録資料4：地方、県、県庁所在地一覧表

注1 山地とはいくつかの山が集まったもの。

注2 山脈はいくつかの山々が長く連なり、带状に伸びる山地である。

2 【专栏1】 教学内容提示

本专栏主要介绍了日本农业、畜牧业、渔业的发展近况和特点。

日本的农业十分发达，自古以来水稻就是主要农作物。另外，蔬菜、水果的产量也很高。但由于耕地面积狭小，再加上食物消费结构的变化，日常农产品供不应求，主要依赖于进口。

日本的畜牧业近年来也有所发展，猪、牛、鸡的饲养数量都有较大幅度的提高。但是日本森林面积广阔、草地少，并不利于畜牧业的发展。

日本海域多渔场，是发展渔业的有利的自然条件。日本远洋渔业十分发达，但近年来由于受到200海里经济区的限制，捕鱼量逐渐减少。不过，日本大力发展水产品养殖业，并取得了很大成效。

 参考文献 『留学生のための日本事情入門』 文理閣 2005年

 参考URL 1. <http://www.hello-school.net/> (ネットの学校)
2. フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

1. 多種多様な産物

(1) 農業

日本の国土面積の多くは山地や丘陵であるため、耕地は狭くなっている。しかし、かつては「農の国」といわれるほど、農業が盛んであった。日本の農業は米作を中心に発展してきたが、近年では日本人の食生活の変化^{注1}により、畜産物や油脂類の消費が増加するという傾向が見られ、これに従って生産物も変化してきた。

日本の食料自給率は約40%である。特に、パンやめん類に加工される小麦、醤油や味噌・豆腐の原料となる大豆はほとんど外国からの輸入に頼っている。また、穀物の自給率は約30%で、家畜の餌となるトウモロコシは今ではすべて輸入に頼っており、日本は世界最大のトウモロコシ輸入大国になっている。食料自給率が90%以上のものは、米、^{かんしょ}甘蔗、^{けいらん}ミカン、鶏卵、茶だけである。

日本は南北に細長い列島であるため、北の寒い地域から南の温暖な地域まで多種多様なものが栽培されている。野菜は日本の自給率が高いものの一つでもある。果物は、梨、リンゴ、桃、葡萄、苺、メロン、スイカ、サクランボなどがあるが、ミカンの生産量がもっとも多い。

(2) 畜産

第二次世界大戦後、日本人の食生活が変化して、肉や卵などを食べるようにな

り、畜産業が発達した。日本は森林が多いため畜産に適した牧草地が少なく、家畜を養うには長時間労働が必要である点や養豚場や養鶏場から出る匂いや水の汚れの管理などが厳しい条件になっている。また、飼料を外国からの輸入に頼っており、その負担も大きい。

乳牛は北海道や岩手県など涼しい地域の飼養数が多い。肉牛と肉用鶏、豚肉は宮城県や鹿児島県が上位に位置する。牛肉は、松阪牛、米沢牛、神戸牛など、ブランド牛（銘柄牛）と呼ばれる高級牛肉が存在する。

付録資料5：主なブランド牛

(3) 水産物

日本は漁業が盛んな国で、かつては長い間、世界一の漁獲量を誇っていた。しかし近年その漁獲量は低下し続け、今では中国、ペルーに続く3番目の漁業国となっている。世界的に200海里規制が定められ、漁場は狭くなり、日本の漁業も大きな打撃を受けた。そのような中で、日本では養殖業や栽培漁業が発達し、「獲る漁業」から「育てる漁業」へと漁業が変わってきている。海面養殖業の生産量は、ホタテ貝やカキ、ブリ、ノリなどが多くなっている。日本の水産物輸入額は世界全体の約20%で、世界第1位の水産物輸入国である。

(4) 特産物

日本には各地域に様々な特産物が存在する。その中でも鉄道の駅や電車内などで販売されている「駅弁」は、現在、全国各地で2,000～3,000種もある。その多くには、各地でとれた特産物が盛り込まれている。

写真1：日本一美味いと評価されることの多い豊橋駅の稲荷寿司駅弁

（掲載ページ：http://eki-ben.web.infoseek.co.jp/23aichi_toyoina.htm）

また、地域ごとに昔から食べられてきた郷土料理も数多い。岩手県のわんこそば、東京都のもんじゃ焼き、愛知県のひつまぶし、香川県の讃岐うどんなどが有名である。

写真2：岩手県の名物「わんこそば」

（掲載ページ：<http://morioka.areablog.jp/blog/1000033903/p10453733c.html>）

注1 近年、日本人の食生活の変化：多種多様な消費傾向や洋風化があげられる。具体的には、（1）主食としての米の消費量が減ってきていること。（2）小麦（パンやめん類）の消費量が増えてきていること。（3）肉・魚・卵・牛乳などの割合が大きくなってきていること等。

3 【专栏2】 教学内容提示

本专栏主要介绍日本的温泉。

日本温泉很多，兵庫县的有马温泉、爱媛县的道后温泉、群馬县的草津温泉、鹿児島县的指宿温泉等均历史悠久。日本由于温泉开发而发展起来的城市也有很多，如热海、伊东、諏访等。早在江户时代温泉就作为促进健康、恢复体力的水疗之地而成为日本人生活的一部分。今天，休闲与旅游业的发展使人们更加热爱温泉。



参考文献

1. 『知ったかぶり日本地図』 毎日コミュニケーションズ 2009年
2. 『日本文化・社会・風土』 四川大学出版社 2002年

2. 日本人と温泉

日本は火山の多い島国であり、火山の噴火により溶岩、火山弾、火山灰、水蒸気などが噴出される。このため、火山周囲には地熱を含む土地が多く存在し、平均以上に熱せられて湧き出る泉も数多く存在する。日本では25℃以上の温水が湧き出ているものを温泉とし、1948年には『温泉法』が施行されて、法律的に温泉を定義した。基本的にこの温泉法に当てはまる場所が、現在、温泉地として親しまれている。日本は世界的に見ても温泉が多い国で、その数は27,000を超えている。

兵庫県の六甲山にある有馬温泉は、『日本書紀』^{注1}にも登場する歴史ある温泉地である。多くの天皇をはじめ、行基や豊臣秀吉もこの温泉につかったとされる。

愛媛県のだ後温泉は、聖徳太子が泉質をほめたという伝承がある温泉で、『日本書紀』や『万葉集』^{注2}にも登場し、夏目漱石の代表作『坊っちゃん』の舞台ともなった。

群馬県の草津温泉も歴史を持つ温泉である。大量の温泉が樋を流れる幅約20m、長さ約60mの湯畑が有名である。この場所で草津の代表的な土産物として知られる硫黄化合物の「湯の花」が取れる。

指宿温泉は鹿児島県の薩摩半島にある温泉地で、江戸時代に温泉として利用されるようになり、第二次世界大戦後に本格的に発展した。浜辺で高温の砂に埋もれる砂風呂が指宿温泉の代名詞である。

上に述べたもののほかに、東日本では熱海、伊東、諏訪など、西日本では別府なども有名な温泉地である。

日本人がなぜ温泉を好むのかははっきりしないが、『出雲国風土記』^{注3}（733年）には、「美容と健康によい」と、早くも温泉の効用について記されている。温泉が一般民衆に広まったのは平安時代以降で、江戸時代からは、健康増進・体力回

復の湯治場^{とうじば}として生活の一部となった。現在では労働時間の短縮、休日の増加で余暇を楽しむようになった。このことと観光産業の発達や温泉ブームと一致し、ますます人々は、温泉地へ出かけるようになった。

温泉地は温泉そのものの魅力のほかに、サービスの素晴らしい旅館や美味しい郷土料理、また、自然豊かな景勝地が集まり、温泉を中心とした観光地が築かれている。

写真3：温泉地の名物

注1 『日本書紀』：舎人親王^{とねりしんのう}らが中心となって神代から持統天皇までの天皇家の歴史を年代順にまとめた歴史書。

注2 『万葉集』：日本最古の歌集。約 4,500 首が収められている。天皇や貴族だけではなく、農民や防人など身分の低い者の歌もある。

注3 『出雲国風土記』、現在に伝えられている風土記のなかで、唯一の完本であって、733 年（天平 5）に成立された。



四、课堂练习内容提示及参考答案

Step 1. テキストの内容をまとめなさい。

(1) 日本の地形の特徴は何か。

参考【導入部分】内容回答问题。

(2) 日本にはどんな農畜水産物があるか。

参考【专栏1】内容回答问题。

(3) 『日本書紀』などの古い本に登場する温泉の名前を挙げなさい。

参考【专栏2】内容回答问题。

Step 2. 次の言葉の意味を説明し、中国語に訳しなさい。

(1) 日本アルプス（日本阿尔卑斯山）

説明：本州中央部でほぼ南北に並走する飛騨山脈（北アルプス）、木曽山脈（中央アルプス）、赤石山脈（南アルプス）の総称。

(2) 環太平洋造山帯（环太平洋造山带）

説明：太平洋を取り囲む造山帯。環太平洋火山帯、環太平洋地震帯とほぼ一致する。

(3) リアス式海岸（里亚斯型海岸）

説明：丘陵性ないし山地性の地域において、陸上侵食によって形成された谷が、海面の上昇あるいは地盤の下降のため沈水してできた海岸。海岸線は湾が連なり、出入りに富んでいる。

(4) ブランド牛（顶级和牛）

説明：産地（地理的表示）、品種（血統）、格付け、飼育法など一定の基準を満たし、特定の銘柄が付けられた牛のこと。有名なものに神戸ビーフ（兵庫県）・松阪牛（三重県）・近江牛（滋賀県）の三大和牛がある。（三大和牛は「神戸ビーフ・松阪牛・米沢牛」と言われることもある。）

(5) 200海里規制（200海里专属经济区）

説明：沿岸国の領海基線から200海里以内の海洋、水産資源、海底鉱物資源などについてはその沿岸国が管轄権を持つという規制。この水域を「排他的経済水域」ともいう。海里とは海上の距離の単位で、1海里=1,852m、200海里=370.4km。

(6) 育てる漁業（水产品养殖业）

説明：いけすなどで水産物を飼育する養殖業と卵から孵化させた稚魚を海などに放流する栽培漁業などの「育てる」ことに主眼をおく漁業のこと。マダイ、ホタテ貝、カキなどの中高級魚を育てることが多い。

(7) 駅弁（车站便当）

説明：主として鉄道駅で販売されている弁当のことをいう。特に、販売される駅や鉄道路線、地域に限定の弁当を指す。「駅弁当」または「駅売り弁当」の略。

(8) 郷土料理（乡土料理、家乡菜）

説明：ある地方に特有の料理。その地方特産の食品を用い、その産地でつくり味もよいことを原則とする。しかし、なかには消費地が移動して他地方になっているもの、生産地が移動しているものも少なくない。

(9) 湯畑（汤田）

説明：温泉の源泉を地表や木製の樋に掛け流し、温泉の成分である湯の花の採取や湯温を調節する施設のことである。

(10) 湯治場（温泉疗养地、水疗地）

説明：湯治とは、温泉地に長期間（少なくとも一週間以上）滞留して特定の疾病の温泉療養を行う行為である。湯治場とは、湯治を目的に長期滞留する温泉地のことである。

Step 3. リサーチ発表。

(1) 下記の「日本の一番」について調べなさい。

①日本一高い山：富士山（静岡県・山梨県） 3,776m

②日本一大きい湖：琵琶湖（滋賀県） 670.33km²